

全国の会員生協の皆様へ

2011年4月15日

日本生活協同組合連合会

会長 山下 俊史

**放射能汚染問題で風評被害を受けている地域の農水畜産物を利用することで、
風評被害に苦しむ生産者・産業を応援しましょう**

現在、福島県をはじめとする福島原発の周辺では、地震や津波などの直接的な被害に止まらず、新たな災害ともいえる「風評被害」に襲われています。毎日めまぐるしく伝えられている、原発事故の様子や食品に関する報道などから、消費者や食品製造事業者・流通小売業者の過剰な反応も見受けられます。

この事態のもと、日本生協連は生活協同組合コープふくしまから「原発事故に起因する風評被害を克服し、福島県産品を買い支えていただくとりくみ」に関する要請書（添付資料をご覧ください）をいただきました。

日本生協連では、ホームページ上で、組合員・消費者のみなさんに対して、「農水畜産物については、現在、政府が定めた暫定規制値にもとづく検査と出荷制限が行われており、規制値を超えた商品は流通していない」こと、「日本生協連のコープ商品には、福島県や周辺の地域で生産した野菜等を原料にしたものがある」が、「この原料は行政規制の対象ではないことを確認し、従来と同じようにコープ商品の製造・販売を続けていく」ことをおしらせし、風評被害に惑わされないよう要請します。

会員生協の皆様には、原発事故に関する風評被害をうけて苦勞されている生産者や該当地域の困難をご理解いただき、ともにこの困難を克服するためにこれらの地域の農畜水産物の取り扱いの継続、組合員に対する呼びかけをお願い申し上げます。

皆様のご支援をいただき、該当地域の生産者と産業の復興を支えたいと考えます。よろしく願い申し上げます。